

# 文化庁長官表彰「文化芸術創造都市部門」 豊中市が府内初の被表彰都市に決定

文化芸術の創造性を活用し、地域の特色を活かした文化芸術活動の成果が評価される

文化庁では、文化庁長官表彰に「文化芸術創造都市部門」を設け、市民参加のもと、文化芸術の力により地域の活性化に取り組み、特に顕著な成果をあげている市区町村を表彰しています。

「音楽あふれるまち」をめざした取組、大阪音楽大学、大阪大学、日本センチュリー交響楽団との連携協力や、しょうないREKとの協働による創造性の高い事業開催、秋にプレオープン予定の文化芸術センターの画期的な運営手法などにより、このほど豊中市が被表彰都市に決定されました。

## ■文化芸術創造都市 平成 27 年度（2015 年度）の表彰は 4 都市

産業構造の変化により都市の空洞化や荒廃が問題となる中、欧州などでは、文化芸術の持つ創造性を活かした産業振興や地域活性化の取組が、行政、芸術家や文化団体、企業、大学、住民などの連携のもとに進められてきました。このような「クリエイティブ・シティ（創造都市）」の取組に、国内外で注目が高まっています。

文化庁は、文化芸術の持つ創造性を地域振興、観光・産業振興等に領域横断的に活用し、地域課題の解決に取り組む地方自治体を「文化芸術創造都市」と位置付け、文化庁長官表彰を平成 19 年度（2007 年度）から行なっています。

## ■被表彰都市の決定にかかる代表的な取組

豊中市は平成 18 年（2006 年）に文化芸術振興条例を制定し、平成 20 年（2008 年）の文化芸術振興基本方針に続き、平成 24 年（2012 年）には文化芸術推進プランを策定し、「音楽あふれるまち とよなか」に取り組んできました。

### ○音楽あふれるまちの具現化

「とよなか音楽月間」が秋の恒例に。“豊中こども音楽フェスティバル”や“豊中まちなかクラシック”など魅力ある公演に集う市内外からの多くの来場者で賑わいます。

### ○大学やオーケストラ連携で奏功

市内に立地する大阪大学、大阪音楽大学・同短期大学部や、日本センチュリー交響楽団との協定に基づく連携協力が功を奏し、多彩な音楽催事に活況が見られます。

### ○創造的な協働の成果

市民活動団体と多様な主体で構成される「しょうないREK<sup>レック</sup>」との協働で開催する市民の主体的な音楽創造が異彩を放っています。

### ○文化芸術センターの先駆性

秋にプレオープン予定の豊中市立文化芸術センター。指定管理者の共同事業体にオーケストラが携わる事例は、国内の大型公立文化施設では稀有なこととして注目されています。

## ■日本センチュリー交響楽団 豊中市との音楽創造

平成24年度（2012年度）に豊中市と「音楽あふれるまちの推進に関する協定」を締結。“豊中まちなかクラシック”で歴史的建造物などに質の高い演奏の場を広げ、豊中市ほか地域コミュニティや大学との企画に音楽の創造性を存分に活かしています。



日本センチュリー交響楽団 ©s.yamamoto



豊中まちなかクラシック

## ■しょうないREKとの協働

豊中市や、日本センチュリー交響楽団、大阪音楽大学などとともに、作曲家・野村誠さんを迎えて開催する“世界の庄内音楽ワークショップ”、“世界のしょうない音楽祭”でのしょうないREKとの協働が特筆されます。庄内ならではの新たな音楽作品が生まれています。



世界の庄内音楽ワークショップ



世界のしょうない音楽祭

## ■豊中市立文化芸術センターの開設

指定管理者制度を採用し、日本センチュリー交響楽団等の民間事業者の特色や実績を活かした管理運営を行います。



文化芸術センター大ホール（イメージ）

問合せ先  
文化芸術課 奥居  
電話 6 8 5 8 - 2 5 0 1